

## 亘理町の空間線量率の遷移

石井慶造、寺川貴樹、松山成男、菊池洋平、長久保和義、石崎梓、藤代史、新井宏受、長田直之

東北大学大学院工学研究科  
生活環境早期復旧技術研究センター

### 1. 目的

宮城県亘理町の空間線量率の時間変化を調べる。

### 2. 方法

東北大学は、2011年3月15日以降、亘理町の空間線量率を毎週測定している。測定はNaIサーベーターで行っている。測定データを用いて、2012年8月19日までの時間変化を作成する。

### 3. 結果（平成24年8月19日発表）

図1に観測点を示す。観測場所は土の表面であるが、2011年の11月頃まではウェザリング効果で空間線量率は減少したが、その後は一定である。また、観測点は、2011年の6月頃から0.23マイクロシーベルト毎時を下回っている。

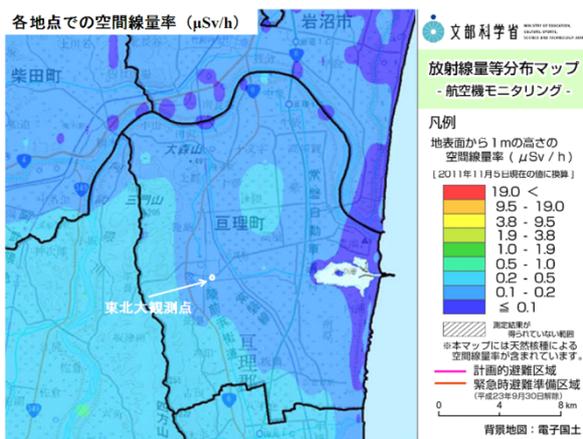


図1 亘理町における東北大の観測点

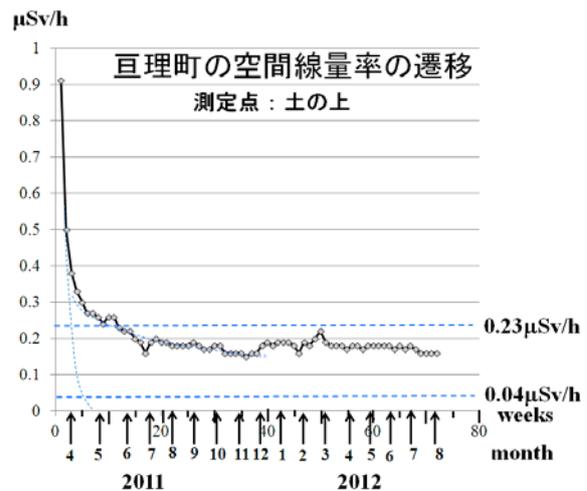


図2 亘理町の空間線量率の時系列変化

作成者：石井慶造